

祥しょう

雲うん

閣かく

たより Vol.44

四季折々の祥雲閣

## 立春の風景



## 祥雲閣でお茶はいかがですか



『祥雲閣』は荒雄地区の旧家、青沼家が所有していた貴賓館の名称を受け継ぎ、平成6年に開館しました。庭園内には茶室「龍華庵」があります。



立礼茶室では日曜から金曜は抹茶、土曜は煎茶と和菓子をお出ししています。抹茶は茶筌でふんわり泡立てられ、茶碗の美しい模様季節を感じることができます。

煎茶は一煎目で甘味、二煎目でさわやかな苦みを味わっていただけるよう、お茶の葉の量やお湯の温度、抽出時間を調整してお出ししています。



祥雲閣の庭園で、二月になると黄色の細長い花を咲かせるのが万作です。厳しい冬の寒さの中、真っ先に花を咲かせることから、その名がついたと言われます。二十四節気の「節分」「立春」を迎えると暦の上では春になります。庭園の梅のつぼみや木々の芽も少しづつ春の支度を整えはじめ、三寒四温というようにゆっくりと春が近づいてきます。

節分は立春の前日です。「季節を分ける」という字の通り、季節の変わり目です。この時期に多く起きる病気や災害を鬼に見立て追い払う伝統行事が日本各地で行われ、豆まきなど福を呼び込む行事が浸透しています。



祥雲閣では柗鯛（ひいらぎいわし）を飾ります。魔除けや厄除けを目的として伝わる風習で葉っぱのついた柗の枝に、焼いた鯛の頭を刺したものです。柗の葉のとげて鬼を刺し、鬼が苦手な鯛の匂いで鬼を追い払うと言われるそうです。

※諸説あります。

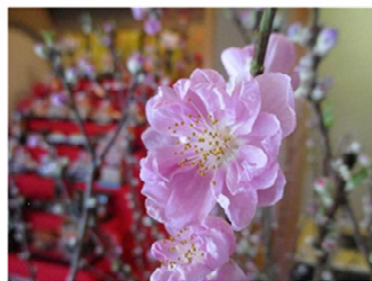


## ひな飾り展示のお知らせ

祥雲閣では七段飾りのおひな様やつるし雛などの展示を2月から3月にかけて行います。女の子の健やかな成長を祈って飾られるおひな様ですが、最近は住宅事情等もあり家に飾る事は難しくなっています。

かわいらしいおひな様を見ると何だか心が動かされます。きっとおひな様を飾って桃の節句を祝ってきた想いが人々の心に刻まれているからかもしれません。

まだまだ寒さは続きますが祥雲閣で一足早い春の訪れをぜひご覧下さい。



## カレンダー

※ は休館日 (変更する場合があります)

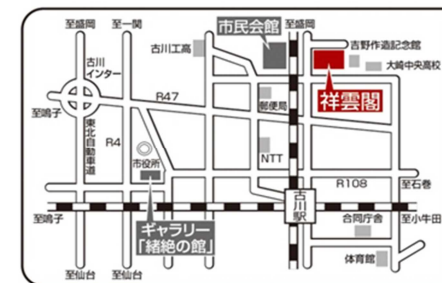
2月							3月							4月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	④				1	2	3	④							1
5	6	7	8	9	10	⑪	5	6	7	8	9	10	⑪	2	3	4	5	6	7	8
12	13	14	15	16	17	⑱	12	13	14	15	16	17	⑱	9	10	11	12	13	14	15
19	20	21	22	23	24	⑳	19	20	21	22	23	24	㉑	16	17	18	19	20	21	22
26	27	28					26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29
														30						

## ◇◆祥雲閣のご案内◆◇

和の空間で四季折々の庭園を眺めながら500円でお茶とお菓子を味わえます。(10時~16時まで)

茶道をはじめ、狂言、仕舞、謡、舞踊等の発表会やお稽古などにご利用いただけます。

- ◆所在地 大崎市古川福沼一丁目2番2号
- ◆電話 0229-24-3385
- ◆交通 JR古川駅から徒歩約20分  
東北自動車道古川ICより車で約10分
- ◆駐車場 有
- ◆休館日 月曜日  
(月曜が祝日の場合は翌日)
- ◆入館料 無料



大崎市祥雲閣

令和5年1月30日発行

〒989-6105

宮城県大崎市古川福沼一丁目2番2号

TEL・FAX 0229-24-3385

